

大分県豊後大野市

豊後大野市三重町市場1200
担当課:市民生活課健康推進室
☎0974-22-1001
FAX0974-22-6653
Eメール:tk6035@cit.bungoono.ij.jp

本市のデータ

(1)面積 603.14km²

(2)人口

| 年次 | 人口 | 世帯数 |
|-------|--------|--------|
| 平成17年 | 41,551 | 15,062 |
| 平成22年 | 39,099 | 15,158 |
| 平成27年 | 36,598 | 14,223 |
| 平成30年 | 34,620 | 14,251 |

国勢調査(平成30年は大分県統計年鑑)

高齢化率 43.4%(平成30年度)

(3)産業別就業者数(15歳以上)

| 産業 | 総数 |
|-------|--------|
| 第一次産業 | 3,576 |
| 第二次産業 | 3,168 |
| 第三次産業 | 10,139 |

平成27年



本市の概要

豊後大野市は、平成17年3月31日に5町2村が合併して誕生しました。東部は大嶷山(おおとうげやま)、佩楯山(はいだてさん)、西部は阿蘇外輪山のすそ野、北部は神角寺(じんかくじ)・鎧ヶ岳(よろいがたけ)、南は祖母・傾山、三国峠により囲まれ、盆地状をなしています。地形的、地理的には必ずしも恵まれていませんが、起伏に富み、かつ複雑な地形を生かすとともに、大小の河川を集めて別府湾に注ぐ大野川の豊かな水利があり、県内屈指の畑作地帯を形成しています。また、神角寺・芹川県立自然公園、祖母・傾県立自然公園、祖母・傾国定公園に囲まれており、有形、無形の地域資源に恵まれた名水・田園・観光のふるさとでもあります。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

本市は、平成19年度から3年間、大分県の「自殺うつ事業モデル地域」の指定を受け、自殺対策事業に取り組んできました。その後、平成21年度から5か年計画で「自殺のないまち、住みよいまちづくり」を目的に、様々な取り組みをおこなってきました。そして、平成28年4月の自殺対策基本法改正により、平成31年3月に「豊後大野市自殺対策行動計画」を策定しました。本計画は、市民一人ひとりの「こころ」をつなぎ、「いのち」を支えるための指針として、様々な自殺対策を推進していくものです。

<具体的な取組み>

豊後大野市自殺対策 6本柱

施策1. 市民への普及啓発(こころの健康や自殺対策事業について理解を深めるため、キャンペーンや地域での学習会を開催しています。) ①啓発グッズ作成・配布②自殺対策キャンペーンの実施③ブルゾン・ポロシャツの着用④市報やケーブルテレビなどでの広報活動④地域でのこころの健康教室の出前講座の開催⑤こころをつなぐ仲間づくり講演会(フォーラム)

施策2. 関係機関ネットワークの連携強化(関係機関と連携しながら事業を推進しています。)

①自殺対策連絡協議会②こころをつなぐ仲間づくり推進委員会③自殺対策委員会④自殺対策作業部会⑤自殺未遂者対応機関連絡会⑥個別支援での連携

施策3. 地域の支援者育成(市職員をはじめ、相談にあたる関係者、さらには市民の方を対象に研修会等を開催しています。) ①ゲートキーパー研修会②ゲートキーパーフォローアップ研修会

施策4. 相談体制の強化・充実(市民が相談しやすい窓口となる機関を広く周知しています。)

①こころのホットライン②こころの相談会③自殺未遂対応職員研修会④個別支援⑤相談窓口一覧の作成、配布

施策5. 生きることの促進要因への支援(「生きることの促進要因」という観点から、居場所づくり、自殺未遂者への支援、遺された人への支援を行っています。)①遺族支援会議

施策6. 子ども・若者向けの支援



自殺対策キャンペーン



ゲートキーパーフォローアップ研修会



自殺対策委員会



こころの健康づくりキャラクター
めぎちゃん